様式１

鋼製シャッター・鋼製開き戸／複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

※１：申請する認定名称と認定番号を記入のこと

ＣＡＳ－０２５７

使用登録申請図書

一般社団法人 日本サッシ協会

申請日は当月の1日とする（以降の書類も共通）

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

申請会社名 ○○○○株式会社

様式１－１

※１：申請する認定名称と認定番号を記入のこと

鋼製シャッター・鋼製開き戸／複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）

ＣＡＳ－０２５７

使用登録変更申請図書

一般社団法人 日本サッシ協会

申請日は当月の1日とする

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

申請会社名 ○○○○株式会社

様式２

※2：申請する認定番号を記入のこと

ＣＡＳ－０２５７ 使用登録申請書

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

一般社団法人　日本サッシ協会　　御中

※３：申請する認定名称を記入のこと

鋼製シャッター・鋼製開き戸／複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）について、

販売、生産、施工を行いたいので、所定の書類を添付して申請いたします。

[申請者]

住　　　　所： 〒△△△－○○○○ □□□□□□□□□□□□□□

社印

会 　社　 名： ○○○○○○株式会社

代 表 者 名： 取締役社長 山田　○○

代表者印

申請者と同じ場合も記入のこと

[連絡窓口]

所 属 部 署： ○○事業部 △△部　□□□課

役職・氏名： 課長 田中　○○

連絡先住所： 〒 △△△－○○○○ □□□□□□□□□□□□□□

 Ｔ　Ｅ　Ｌ ： ００－●●●●－●●●●

 Ｆ　Ａ　Ｘ ： ００－●●●●－●●●● Ｅ-ﾒｰﾙ ： \*\*\*\*\*\*＠\*\*\*．co.jp

評価番号、登録番号等を記入のこと

該当項目にㇾ点を記入のこと

資格チェック

 ☑（一社）日本サッシ協会の正会員です。

 □（一社）日本サッシ協会の防火戸特別会員です。

 ☑建設業許可登録 登録番号（国土交通大臣（特－２５）第１２３４５号）

　　その他取得資格（参考）

☑（一社）公共建築協会「建築材料品質性能評価事業」鋼製建具の登録企業です。

 評価番号 １ ２ ３ － ９ ８ ７ ６ ５ ４ ３ ２

☑JISまたはISO（●●●●）の認定を取得しています

様式２－１

※2申請する認定番号を記入のこと

ＣＡＳ－ ０２５７ 使用登録変更申請書

申請者と同じ場合も記入のこと

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

一般社団法人　日本サッシ協会　　御中

※３：申請する認定名称を記入のこと

鋼製シャッター・鋼製開き戸／複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）について、

工場の追加と削除を行いたいので、所定の書類を添付して申請いたします。

※4：変更・追加の項目の概要を記入のこと

[申請者]

住　　　　所： 〒△△△－○○○○ □□□□□□□□□□□□□□

社印

会 　社　 名： ○○○○○○株式会社

代 表 者 名： 取締役社長 山田　○○

代表者印

[連絡窓口]

所 属 部 署： ○○事業部 △△部　□□□課

役職・氏名： 課長 田中　○○

連絡先住所： 〒 △△△－○○○○ □□□□□□□□□□□□□□

 Ｔ　Ｅ　Ｌ ： ００－１２３４－５６７８

 Ｆ　Ａ　Ｘ ： ００－１２３４－６７８９ Ｅ-ﾒｰﾙ ： ＊＊＊＊＊＊＠\*\*\*．co.jp

資格チェック

該当項目にㇾ点を記入のこと

 ☑（一社）日本サッシ協会の正会員です。

 □（一社）日本サッシ協会の防火戸特別会員です。

 ☑建設業許可登録 登録番号（国土交通大臣（特－２５）第１２３４５号）

　　その他取得資格（参考）

☑（一社）公共建築協会「建築材料品質性能評価事業」鋼製建具の登録企業です。

 評価番号 １ ２ ３ － ９ ８ ７ ６ ５ ４ ３ ２

最新の評価番号、登録番号等を記入のこと

□JISまたはISO（●●●●）の認定を取得しています。

様式２－２

※2申請する認定番号を記入のこと

ＣＡＳ－ ０２５７ 使用登録取消し申請書

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

一般社団法人　日本サッシ協会　　御中

※３：申請する認定名称を記入のこと

鋼製シャッター・鋼製開き戸／複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）について、

使用登録の取消しを行いたいので、所定の書類を添付して申請いたします。

[申請者]

住　　　　所： 〒△△△－○○○○ □□□□□□□□□□□□□□

社印

会 　社　 名： ○○○○○○株式会社

代 表 者 名： 代表取締役社長 ○○　太朗

代表者印

申請者と同じ場合も記入のこと

[連絡窓口]

所 属 部 署： ○○事業部 △△部　□□□課

役職・氏名： 課長 □□　次郎

連絡先住所： 〒 △△△－○○○○ □□□□□□□□□□□□□□

 Ｔ　Ｅ　Ｌ ： ○△□－△□◎○－△○▽□

 Ｆ　Ａ　Ｘ ： ○△□－△□◎○－▽○△▽ Ｅ-ﾒｰﾙ ： \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*＠\*\*\*．co.jp

資格チェック

該当項目にㇾ点を記入のこと

 ☑（一社）日本サッシ協会の正会員です。

 □（一社）日本サッシ協会の防火戸特別会員です。

 ☑建設業許可登録 登録番号（国土交通大臣（特－２５）第１２３４５号）

　　その他取得資格（参考）

☑（一社）公共建築協会「建築材料品質性能評価事業」鋼製建具の登録企業です。

 評価番号 １ ２ ３ － ９ ８ ７ ６ ５ ４ ３ ２

評価番号、登録番号等を記入のこと

□JISまたはISO（●●●●）の認定を取得しています。

様式２－３

ＣＡＳ－ ０２５７ 変更内容説明書

変更・追加等の詳細を記入のこと

※2：申請する認定番号を記入のこと

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

会社名　○○○○○○株式会社

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 変更・追加の区分 | 変更事項 | 様式№　書類名 | 内容 | 理由 |
| 追加 | 委託工場の追加 | 様式８及び様式１０ | ○○◆◇工業㈱及び▽△○◎製作所㈱の2工場を委託工場として追加する。 | 対応工場拡張のため |
| 変更 | 委託工場の削除 | 様式８及び様式１０ | 委託工場の整理 | 取引中止のため |
|  |  |  |  |  |

様式 ３

製造工程説明書

２０　●● 年 ● 月　1日

会社名　○○○○○○株式会社

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 工程 | 管理項目 | 検査方法 |
| 1. 材料受入
2. 切断
3. 機械加工
4. 部品受入（保管）
5. 部品取付け
6. 組立・組入れ
7. 塗装
8. 検査
9. 養生・保管
10. 出荷
 | 板厚機械的性質切断寸法加工寸法外観形状・寸法金具の種類・作動取付位置組立状況作動状況塗膜厚さ内法寸法外観倉庫等 | ＪＩＳマーク確認ミルシート確認（１年ごと）工程検査表による同上同上同上同上膜厚計抜取検査目視、全数検査 |

様式４

品質管理説明書

２０　●● 年 ● 月　1日

会社名　○○○○○○株式会社

1. 品質管理の方針

社是「品質至上」に基づき、品質の維持、向上が企業活動の中でなによりも優先することを第一とし、　企業利益ならびにお客様や社会からの信頼獲得の源泉が「品質」にあることを理解し、品質管理活動を組織的に実施して行くとともに(一社)日本サッシ協会が定める品質管理規定及び同指導書に準拠した品質管理を行う

1. 品質管理組織

※自社の品質管理の実態組織が分かるように記入する会社全体組織と整合性を持たせること

品質保証部 ※３

管理部

○○○○○株式社

設計部

品質係 ※１

製造部(工場) ※２

製造課

営業部

施工管理部

※１ 品質管理責任部署

※２ 製造管理責任部署

※３ 証紙管理責任部署

1. 関係規定

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 品質管理組織に関する規定（品質管理規定） | 有 無 |  |
| 品質管理に関する規定 （品質管理規定） | 有 無 |  |
| 製品規格に関する規定 （製品規格） | 有 無 |  |
| 検査基準に関する規定 （完成品検査規定） | 有 無 |  |
| 受入基準に関する規定 （購買受入規定） | 有 無 |  |
| 苦情処理に関する規定 （苦情処理規定） | 有 無 |  |
| 作業標準に関する規定 （作業標準書） | 有 無 |  |
| 証紙管理に関する規定 （証紙管理規定） | 有 無 |  |
| 施工管理に関する規定 （施工管理規定） | 有 無 |  |
| その他の規定 （ ） | 有 無 |  |

1. 報告

（一社）日本サッシ協会に対して毎年度ごと４月末日までに遮炎・遮煙性能防火戸の生産実績の報告を行う。

(CAS-0257,0258用)　様式　５

品質管理項目

２０　●● 年 ● 月　1日

※これは記載例です。自社の規定合わせて修正のこと

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工程 | 管理項目 | 規格 | 測定器具・方法 | 数値・許容差 | 実施部門 | 管理方法 |
| ＪＩＳ規格など、品質特性 | 測定器具 | 検査方法 | 規格値 | 許容差 |
| 施工図 | 防火戸の明記 | 施工図に明記する | 目視 | 見やすい所に表示 | 施工図担当部門 | 全数チェック |
| 資材・副資材・部品受入検査 | 鋼板類 | 板厚 | JIS G 3302 | ﾏｲｸﾛﾒｰﾀｰ | 一部測定確認 | 1.6㎜ | ＪＩＳによる | 資材部門 | ミルシート及び抜取り検査 |
| JIS G 4305 | 1.5㎜ |
| 金物類 | 形状・数量 | 制定図又は部品図による | 金属製直尺・ノギス・鋼製巻尺  | 測定・確認 | 外注品受入検査規定による | 資材部門 | メーカーの検査表確認、入荷ロット毎に一部抜取り検査 |
| 気密材等 | 形状・数量 |
| 製造 | 切断寸法 | 工作図による | 金属製直尺・ノギス・鋼製巻尺  | 寸法測定 | 社内規格による | 製造担当部門 | 抜き取り検査又は全数検査 |
| 加工 | 工作図による |
| 塗膜厚さ | 図面指示通りであること | 膜厚計 | 測定確認 |
| 製品検査 | 金具取付け | 図面指示通りであること | 金属製直尺・ノギス・鋼製巻尺 | 測定・確認 | ねじ等のゆるみが無く、指定位置に確実に取付けられていること | 製造担当部門 | 組立完了時、抜取リ又は全数検査 |
| 寸法 | 製品規格による | 枠扉 | Ｗ,ＨDW,DH | 2000未満±1.0㎜2000以上±1.5㎜ |
| 対辺寸法差 | 1.5㎜以内 |
| 外観 | キズ、目違いなどがないこと | 目視 | 目視確認 | 限度見本による | 製造担当部門 | 組立完了時、抜取リ又は全数検査 |

会社名　○○○○○○株式会社

(CAS-0262用)　様式　６

品質管理項目

　２０　●● 年 ● 月　1日

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工程 | 管理項目 | 規格 | 測定器具・方法 | 数値・許容差 | 実施部門 | 管理方法 |
| ＪＩＳ規格など、品質特性 | 測定器具 | 検査方法 | 規格値 | 許容差 |
| 施工図 | 防火戸の明記 | 施工図に明記する | 目視 | 見やすい所に表示 | 施工図担当部門 | 全数チェック |
| 資材・副資材・部品受入検査 | 鋼板類 | 板厚 | JIS G 3302 | ﾏｲｸﾛﾒｰﾀｰ | 一部測定確認 | 1.6㎜ | ＪＩＳによる | 資材部門 | ミルシート及び抜取り検査 |
| JIS G 4305 | 1.5㎜ |
| ガラス | 寸法・外観 | JIS R 3204網入板ガラス | 鋼製巻尺・目視 | 測定・確認 | JIS規格及び製品規格による | 資材部門 | 納入仕様書確認 |
| 金物類 | 形状・数量 | 制定図又は部品図による | 金属製直尺・ノギス・鋼製巻尺  | 測定・確認 | 外注品受入検査規定による | 資材部門 | メーカーの検査表確認、入荷ロット毎に一部抜取り検査 |
| 気密材等 | 形状・数量 |
| 製造 | 切断寸法 | 工作図による | 金属製直尺・ノギス・鋼製巻尺  | 寸法測定 | 社内規格による | 製造担当部門 | 抜き取り検査又は全数検査 |
| 加工 | 工作図による |
| 塗膜厚さ | 図面指示通りであること | 膜厚計 | 測定確認 |
| 製品検査 | 金具取付け | 図面指示通りであること | 金属製直尺・ノギス・鋼製巻尺 | 測定・確認 | ねじ等のゆるみが無く、指定位置に確実に取付けられていること | 製造担当部門 | 組立完了時、抜取リ又は全数検査 |
| 寸法 | 製品規格による | 枠扉 | Ｗ,ＨDW,DH | 2000未満±1.0㎜2000以上±1.5㎜ |
| 対辺寸法差 | 1.5㎜以内 |
| 外観 | キズ、目違いなどがないこと | 目視 | 目視確認 | 限度見本による | 製造担当部門 | 組立完了時、抜取リ又は全数検査 |

※これは記載例です。自社の規定合わせて修正のこと

会社名　○○○○○○株式会社

様式 ７

施工管理説明書

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

会社名　○○○○○○株式会社

※自社の施工方針を」記入のこと

（１）施工管理の基本方針

 遮炎・遮煙性能防火戸の適正な施工を図り、法定の防火性能を確保することを目的と

し、（一社）日本サッシ協会が定める「施工管理規定及び同指導書」に準拠した施工

管理を行う。

※自社の施工部門の安全管理や工事管理の組織実態が分かるように記入。会社全体組織と整合性を持たせること

（２）施工管理組織

施工管理課

施工管理部

○○○○○株式会社

施工者

防災責任者

現場管理者

施工設計課

安全管理課

管理部

設計部

製造部(工場)

営業部

　　　　（３）施工管理

　　　　　　施工は、国土交通大臣官房官庁営繕部監修「建築工事標準仕様書」、「建築工事監理指針」、「建築

　　　　　　改修工事標準仕様書」、「建築改修工事監理指針」及び（一社）日本サッシ協会が定める「施工管理

規定」、「施工管理指導書」に基づき、当社が責任を持って施工者を指導する。

（４）施工管理規定

　　　社内「施工管理規定」に基づき施工する。

（５）留意事項

　　　施工完了時、証紙貼付の確認をする。

（６）付帯事項

　　防火戸は、平成12年建設省告示第1369号第1項の四に基づいた施工を行う。

会社概要

（１）会社概要（申請会社） （２０●●年●月1日現在）

|  |  |
| --- | --- |
| 会社名 | ○○○○○　株式会社 |
| 住所 | 〒１２３－４５６７　　□□□□□□□□□□□□ＴＥＬ　０３（２３４５）５６７８　　ＦＡＸ　０３（２３４５）８７６５ |
| 代表者名 | ○○　太朗 | 資本金 | ＊＊　億円 |
| 設立年月 | 　19●●年　●●月 | 決算月 | ●●月 |
| 取引銀行 | 三菱東京ＵＦＪ銀行、三井住友銀行 |
| 主な事業内容 | 鋼製建具：７０（％）、ステンレス建具：５（％）アルミ建具：２０（％）、その他：:５（％） |
| ＪＩＳ認証番号 | JIS A 4706　代表BL\*\*\*\*\*\*\* | ISO認証番号 | ISO9001 RQ\*\*\*\*ISO14001 JMAQA-\*\*\*\* |
| 建設業許可番号 | 登録番号国土交通大臣許可(特-\*\*)第12345号 |
| 建築材料品質性能評価番号 | 評価第　\*\*\*-\*\*\*\*\*\*\*\*号 |

※自社工場は付表１に記入

※委託工場は付表２に記入

様式 ８

２０ ●●　年 ● 月 １ 日

（２）組織の概要

※会社の営業・製造・品質管理体制などの組織が分かるように実態に沿って記入のこと

総務部

人事部

管理部

品質保証部　※3

施工管理課

商品開発課

設計部

設計課

品質係※1

製造課

製造部※2

（工場）

社　長

営業１部

営業部

営業２部

施工設計課

施工管理部

安全管理課

※1品質管理責任者　部署名：製造部製造課品質係　　氏名　□△ 一郎

※2製造管理責任者　部署名：製造部　　　　　　　　　　　氏名　◎○　健太

※3証紙管責任者　　 部署名：品質保証部　　　　　　　 氏名　▽○　隆

※製造管理者と品質管理者は兼務できません

（３）営業の沿革・概要　会社案内等（別添）

※会社案内、事業概要、カタログなど組織や実績などが分かるものを必ず添付のこと

様式　９

工場名一覧表

新規申請の例

 ２０ ●● 年 ● 月 １ 日

※自社工場、委託工場区分を○で囲む

会社名　○○○○○○株式会社

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工場名 | 工場所在地 | 自社・委託区分 | 備考 |
| ○○○（株）本社工場 | △△県△△市△△町△丁目△番地 | 自社・委託 | 会 | 評価 |
| 非 |
| ※会社名、工場名を記入 | ※（サッシ協会の会員、非会員の区分を○で囲む | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  | ※（社）公共建築協会の建築材料品質性能評価事業所の場合は備考欄に「評価」と記入 | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |

備考欄　評価：（一社）公共建築協会建築材料品質性能評価事業所の場合、「評価」と記入。

様式　９

工場名一覧表

変更・追加申請の例

 ２０ ●● 年 ● 月 １ 日

　会社名　○○○○○○株式会社

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 追加 | 工場名 | 工場所在地 | 自社・委託区分 | 備考 |
|  | ○○○（株）本社工場 | △△県△△市△△町△丁目△番地 | 自社・委託 | 会 | 評価 |
| 非 |
|  | ○○○（株）○○工場（旧　□□工場） | □□県△△市△△町△丁目△番地 | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  | △△製作所（株）本社工場 | ○○県△△郡△△町△丁目 | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
| **◎** | □□工業（株）○○工場 | △△県□□市△△町△丁目 | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | ※申請区分の「工場名変更」の場合、前回申請分を利用し、新工場名の下に括弧書きで旧工場名を記入 | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | ※申請区分の「工場取消」の場合、前回申請分を利用し、取消部部分を二重線で消す　記入する。　記入する。 | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  | ※申請区分の「工場追加」の場合、　前回申請分を利用し、左欄に◎を記入し追加工場を記入 | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |
|  |  |  | 自社・委託 | 会 |  |
| 非 |

備考欄　評価：（一社）公共建築協会建築材料品質性能評価事業所の場合、「評価」と記入。

付表１　（自社工場）

|  |  |
| --- | --- |
| 工場名 | ○○○（株）本社工場 |
| 所在地 | 〒１２３－４５６７△△県△△市△△町△丁目△番地TEL ＦＡＸ |
| JIS番号 | BL\*\*\*\*\*\* | ISO認証番号 | \*\*\*\*\*\*\*\* |
| 建築材料評価性能評価番号 | 評価第　○○□　－△□◎○□×○号 |

|  |  |
| --- | --- |
| 工場名 |  |
| 所在地 | 〒※該当する取得許可などがある場合は番号を記入TEL ＦＡＸL |
| JIS番号 |  | ISO認証番号 |  |
| 建築材料評価性能評価番号※工場名変更、工場追加、工場取消しが生じた場合は、最新情報で作成し提出のこと。。 | 評価第　　　　　－　　　　　　　　　　号 |

|  |  |
| --- | --- |
| 工場名 |  |
| 所在地 | 〒TEL ＦＡＸ |
| JIS番号 |  | ISO認証番号 |  |
| 建築材料評価性能評価番号 | 評価第　　　　　－　　　　　　　　　　号 |

|  |  |
| --- | --- |
| 工場名 |  |
| 所在地 | 〒TEL ＦＡＸ |
| JIS番号 |  | ISO認証番号 |  |
| 建築材料評価性能評価番号 | 評価第　　　　　－　　　　　　　　　　号 |

様式　１０

２０ ●● 年 ● 月 １日

会社名　○○○○○○株式会社

|  |  |
| --- | --- |
| 工場名 |  |
| 所在地 | 〒TEL ＦＡＸ |
| JIS番号 |  | ISO認証番号 |  |
| 建築材料評価性能評価番号 | 評価第　　　　　－　　　　　　　　　　号 |

|  |  |
| --- | --- |
| 工場名 |  |
| 所在地 | 〒TEL ＦＡＸ |
| JIS番号 |  | ISO認証番号 |  |
| 建築材料評価性能評価番号 | 評価第　　　　　－　　　　　　　　　　号 |

|  |  |
| --- | --- |
| 工場名 |  |
| 所在地 | 〒TEL ＦＡＸ |
| JIS番号 |  | ISO認証番号 |  |
| 建築材料評価性能評価番号 | 評価第　　　　　－　　　　　　　　　　号 |

|  |  |
| --- | --- |
| 工場名 |  |
| 所在地 | 〒TEL ＦＡＸ |
| JIS番号 |  | ISO認証番号 |  |
| 建築材料評価性能評価番号 | 評価第　　　　　－　　　　　　　　　　号 |

付表２　（委託工場）

|  |  |
| --- | --- |
| 工場名 | ○○○製作所㈱ |
| 所在地 | 〒９８７―６５４３□□県□□市△△町△丁目○番◎号TEL （072） 3468－9839 ＦＡＸ （072） 3468－9842 |
| 代表者名 | □□ 次郎 | 資本金 | ３０百万円 |
| 設立年月 | 　19●●年　●●月 | 決算月 | ４ 月 |
| JIS番号 |  | ISO認証番号 | ISO9001－□□□□□□ |
| 建築材料評価性能評価番号 | 評価第　○○○　－　□□□□□□□□　　　号 |

|  |  |
| --- | --- |
| 工場名 |  |
| 所在地 | 〒※該当する所属団体がある場合はレ印を記入する※該当する取得許可などがある場合は番号を記入する※依託工場に工場名変更、工場追加、工場取消しが生じた場合は最新情報で作成し一式提出のこと。TEL ＦＡＸ |
| 代表者名 |  | 資本金 | 百万円 |
| 設立年月 | 　19●●年　●●月 | 決算月 | 月 |
| JIS番号 |  | ISO認証番号 |  |
| 建築材料評価性能評価番号 | 評価第　　　　　 －　　　　　　　　　　 号 |

※依託工場の登録に特に条件

はありませんが、品質管理の

全責任は使用登録企業が負

います

|  |  |
| --- | --- |
| 工場名 |  |
| 所在地 | 〒TEL |
| 代表者名 |  | 資本金 | 百万円 |
| 設立年月 | 　19●●年　●●月 | 決算月 | 月 |
| JIS番号 |  | ISO認証番号 |  |
| 建築材料評価性能評価番号 | 評価第　　　　　 －　　　　　　　　　　 号 |

様式　１１

２０ ●● 年 ● 月 １日

 会社名 株式会社 ●●●●

|  |  |
| --- | --- |
| 工場名 |  |
| 所在地 | 〒TEL ＦＡＸ |
| 代表者名 |  | 資本金 | 百万円 |
| 設立年月 | 　19●●年　●●月 | 決算月 | 月 |
| JIS番号 |  | ISO認証番号 |  |
| 建築材料評価性能評価番号 | 評価第　　　　　 －　　　　　　　　　　 号 |

|  |  |
| --- | --- |
| 工場名 |  |
| 所在地 | 〒TEL ＦＡＸ |
| 代表者名 |  | 資本金 | 百万円 |
| 設立年月 | 　19●●年　●●月 | 決算月 | 月 |
| JIS番号 |  | ISO認証番号 |  |
| 建築材料評価性能評価番号 | 評価第　　　　　 －　　　　　　　　　　 号 |

|  |  |
| --- | --- |
| 工場名 |  |
| 所在地 | 〒TEL ＦＡＸ |
| 代表者名 |  | 資本金 | 百万円 |
| 設立年月 | 　19●●年　●●月 | 決算月 | 月 |
| JIS番号 |  | ISO認証番号 |  |
| 建築材料評価性能評価番号 | 評価第　　　　　 －　　　　　　　　　　 号 |

様式　１２

品質管理に関する覚書

※5 CAS-0257の例

（一社）日本サッシ協会（以下甲という）と　○○○○○株式会社（以下乙という）とは、甲が保有する国土交通大臣認定 ＣＡＳ－０２５７ 鋼製シャッター・鋼製開き戸／複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）(以下遮炎・遮煙性能防火戸という）の製造及び供給する企業（登録企業）と品質に関する覚書を以下のとおり締結する。

1. 乙は、遮炎・遮煙性能防火戸の生産にあたり、甲が定める仕様書を満足するよう、その品質管理に関して万全の注意を払うものとする。
2. 甲は、乙の生産する遮炎・遮煙性能防火戸の品質維持のため、必要と認めた場合、乙の工場へ立ち入り調査できるものとする。
3. 甲は、乙の品質管理の履行に関し不備な点があると判断した場合、乙に改善指導をすることができる。
4. 乙は、甲の求めに応じて、品質管理の状況を甲に報告するものとする。
5. 乙は、乙が製造供給した製品に関し外部クレームが発生した場合、甲が定めた品質管理規定に基づき速やかに対処するものとする。
6. 本覚書の有効期間は、本覚書締結の日から2年間とし、期間満了３ケ月以前迄に、甲、乙いずれからも何ら申し出がないときは更に１ケ年延長するものとし、以後も同様とする。
7. 本覚書に定めのない事項又は、本覚書の定めに疑義を生じた事項については、甲、乙協議の上、その都度決定する。

本覚書の証として、本証書を２通作成し、甲、乙捺印の上、各自その１通を保有する。

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

 甲 〒１０５－０００２　東京都港区愛宕１丁目3番4号　愛宕東洋ビル７階

※サッシ協会の印

 一般社団法人 日本サッシ協会

※理事長は2年毎に代わります

 理事長 山下　清胤

 乙 〒●●●－●●●● ●●県　●●市　●丁目●番●号

 ○○○○○株式会社

 代表取締役社長 ○○　太朗

※代表者の印

様式　１３

会員企業→委託工場

遮炎・遮煙性能防火戸の品質管理に関する覚書

　○○○○○株式会社（以下甲という。）と△△工業株式会社（以下乙という。）とは、甲が乙に生産委託する遮炎・遮煙性能防火戸の品質管理に関し、以下の通り覚書を締結する。

第１条　　乙は、遮炎・遮煙性能防火戸の生産にあたり、甲が定める製品規格を満足するよう、その品質管理に関して万全の注意を払うものとする。

第２条　　甲は、乙の生産する遮炎・遮煙性能防火戸の品質維持のため、必要と認めた場合、乙の工場へ立入り調査できるものとする。

第３条　　甲は、乙の品質管理の履行に関し不備な点があると判断した場合、乙に改善指導することができる。

第４条　　乙は、甲の求めに応じて、品質管理の状況を甲に報告するものとする。

第５条　　乙は、乙が生産した受託製品に関し外部クレ－ムが発生した場合、甲が作成した苦情処理規定に基づき、速かに対処するものとする。

第６条　　本覚書の有効期間は、本覚書締結の日から2年間とし、期間満了３ケ月以前迄に、甲、乙いずれからも何ら申し出がないときは更に１ケ年延長するものとし、以後も同様とする。

第７条　　本覚書に定めのない事項又は、本覚書の定めに疑義を生じた事項については、甲乙協議の上、その都度決定する。

　　　　　本覚書締結の証として、本証書２通を作成し、甲乙記名捺印の上、各自その１通を保持

する。

　　　　　２０ ●● 年 ●　月 １ 日

　　　　　　　　　　　　甲　　〒●●●－●●●●　**□□県○○市△△町**

　　　　　　　　　　　　　　　　　○○○○○株式会社

　　　　　　　　代表取締役社長 ○○　太朗

※代表者の印

※社長に限定しない

　　　　　　　　　　　　乙　　〒●●●－●●●●　□□県○○市△△町１－２－３４

△△工業株式会社

　　　　　　　　　　　　　　　　　代表取締役 　□□　高男

※代表者の印

※社長に限定しない

様式　１４

誓約書

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

一般社団法人 日本サッシ協会 殿

申請会社名 ○○○○○株式会社

代表者名 ○○　太朗

※代表者の印

※６ CAS-0257の例

 今回の申請にあたり、貴協会発行の

 認定番号CAS－０２５７　仕様書及び品質管理規定、品質管理指導書、罰則規定、

施工管理規定、施工管理指導書及び品質管理に関する覚書を遵守することを誓約

致します。

様式 １５

遮炎・遮煙性能防火戸証紙頒布契約書

※７ CAS-0257の例

（一社）日本サッシ協会（以下甲という）と　○○○○○株式会社（以下乙という）とは、甲が保有する国土交通大臣認定 ＣＡＳ－０２５７ 鋼製シャッター・鋼製開き戸／複合防火設備（準耐火構造壁・床付き）(以下遮炎・遮煙性能防火戸という）の証紙の頒布及び使用について以下のとおり契約を締結する。

1. 甲は、建築基準施行令第112条第13項第二号に規定する[区画に用いる防火設備]に表

 示する証紙を乙に頒布する。

1. 乙は、甲の指示する方法により、証紙を遮炎・遮煙性能防火戸に貼付して使用するものと

 し証紙を遮炎・遮煙性能防火戸以外には貼付しないものとする。

1. 乙は証紙の頒布を受けるときは、別に定める様式の「証紙頒布請求書」を甲に提出し頒布

 を受けるものとする。

1. 証紙の価格は、甲が別途に定めた価格によるものとする。
2. 乙は、乙の定める様式により証紙の使用実績等について受払い管理を行うものとする。
3. 甲は、その必要があると認めた時は、乙に対して証紙の使用実績等につき報告を求め又

は生産、出荷若しくは施工の現場につき証紙の使用状況等を調査することができる。

1. 甲は、その必要があると認めた時は、遮炎・遮煙性能防火戸適格品であることを確認する

ため乙の製品について調査を行うことができるものとし、乙はこれを承諾し協力するものと

する。

1. 乙は、他の企業、個人及び会員企業間にて証紙を譲り渡し、また他より譲り受けしてはな

らない。

1. 乙が、この契約書に定められた義務の履行を怠り、若しくは、これに違反したときは、別に

定める罰則規定により措置を講ずる。

 第１０条 この契約は、乙が甲の会員企業の資格を失った時をもって終了する。

 第１１条 この契約に定めにない事項については、甲乙協議の上決定するものとする。

 この契約の証として、本証書を２通作成し、甲、乙捺印の上、各自その１通を保有する。

 ２０ ●● 年 ● 月 １日

甲 〒１０５－０００２　東京都港区愛宕１丁目3番4号　愛宕東洋ビル７階

※理事長の印

 一般社団法人 日本サッシ協会

※理事長は2年毎に代わります

 理事長 山下　清胤

 乙 〒●●●－●●●●□□県○○市△△町１－２－３４

※代表者の印

△△工業株式会社

　　　　　　　　　　　　　　　　　代表取締役 　□□　高男

(CAS-0257用)様式 １６

商品名など一覧表

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

※枠見込みは常時閉鎖及び随時閉閉鎖（避難口なし）は８０ｍｍ以上とし、随時閉閉鎖（避難口付）は１００ｍｍ以上とする。

商品名に特に制限はないが区別がつくような名称にする。構造説明図右下に記入する商品名と一致させること。

会社名　○○○○○株式会社

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　　　　　　　開閉型式　　　　　　　　材質商品名 | 常時閉鎖 | 常時閉鎖 | 随時閉鎖 | 随時閉鎖 | 随時閉鎖 | 随時閉鎖 | 備 考 |
| 片開き | 片開き | 両開き | 両開き | 片開き | 片開き | 片開き(避難口付) | 片開き(避難口付) | 両開き | 両開き | 両開き(避難口付) | 両開き(避難口付) | 特徴 | 枠見込 (㎜) |
|  |  | ｽﾁｰﾙ | ｽﾃﾝﾚｽ | ｽﾁｰﾙ | ｽﾃﾝﾚｽ | ｽﾁｰﾙ | ｽﾃﾝﾚｽ | ｽﾁｰﾙ | ｽﾃﾝﾚｽ | ｽﾁｰﾙ | ｽﾃﾝﾚｽ | ｽﾁｰﾙ | ｽﾃﾝﾚｽ |
| 1 | CAS0257-SD1 | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 遮炎・遮煙性能 | 80以上 |
| 2 | CAS0257-SD2 |  |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 遮炎・遮煙性能 | 80以上 |
| 3 | CAS0257-SD3 |  |  |  |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  | 遮炎・遮煙性能 | 80以上 |
| 4 | CAS0257-SD4 |  |  |  |  |  |  | ○ |  |  |  |  |  | 遮炎・遮煙性能 | 100以上 |
| 5 | CAS0257-SD5 |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  |  |  | 遮炎・遮煙性能 | 100以上 |
| 6 | CAS0257-SD6 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  | 遮炎・遮煙性能 | 100以上 |
| 7 | CAS0257-SU1 |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | 遮炎・遮煙性能 | 80以上 |
| 8 | CAS0257-SU2 |  |  |  | ○ |  |  |  |  |  |  |  |  | 遮炎・遮煙性能 | 80以上 |
| 9 | CAS0257-SU3 |  |  |  |  |  | ○ |  |  |  |  |  |  | 遮炎・遮煙性能 | 80以上 |
| 10 | CAS0257-SU4 |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  |  |  |  | 遮炎・遮煙性能 | 100以上 |
| 11 | CAS0257-SU5 |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ |  |  | 遮炎・遮煙性能 | 100以上 |
| 12 | CAS0257-SU6 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  | ○ | 遮炎・遮煙性能 | 100以上 |
|  |  | 商品取消の場合は、前回提出分を利用し、二重線で該当部分を消して提出すること |  |  |  |  | 商品追加の場合は、前回提出分を利用し、追加すること |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

(CAS-0258用)様式 １７

商品名など一覧表

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

会社名　○○○○○株式会社

商品名に特に制限はないが区別がつくような名称にする。構造説明図右下に記入する商品名と一致させること。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 　　　　　　　　　開閉型式　　　　　　　　材質商品名 | 随時閉鎖 | 随時閉鎖 | 随時閉鎖 | 備 考 |
| 片開き２枚 | 両開き３枚 | 両開き４枚 | 特徴 | 枠見込 (㎜) |
| ｽﾁｰﾙ | ｽﾃﾝﾚｽ | ｽﾁｰﾙ | ｽﾃﾝﾚｽ | ｽﾁｰﾙ | ｽﾃﾝﾚｽ |
| 1 | CAS025８-SD1 | ○ |  |  |  |  |  | 遮炎・遮煙性能 | 100以上 |
| 2 | CAS025８-SD2 |  |  | ○ |  |  |  | 遮炎・遮煙性能 | 100以上 |
| 3 | CAS025８-SD3 |  |  |  |  | ○ |  | 遮炎・遮煙性能 | 100以上 |
| 4 | CAS025８-SU1 |  | ○ |  |  |  |  | 遮炎・遮煙性能 | 100以上 |
| 5 | CAS0258-SU2 |  |  |  | ○ |  |  | 遮炎・遮煙性能 | 100以上 |
| 6 | CAS0258-SＵ３ |  |  |  |  |  | ○ | 遮炎・遮煙性能 | 100以上 |
| 7 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 8 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 9 |  | 商品取消の場合は、前回提出分を利用し、二重線で該当部分を消して手支出すること |  |  |  |  |  |  |  |
| 10 |  |  |  |  | 商品追加の場合は、前回提出分を利用し、追加すること |  |  |  |  |
| 11 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

(CAS-0262用)様式１８

商品名など一覧表

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

会社名　○○○○○株式会社

商品名に特に制限はないが区別がつくような名称にする。構造説明図右下に記入する商品名と一致させること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  開閉形式材質商品名 | 常時閉鎖 | 備考 |
| 片開き | 両開き | 特徴 | 枠見込（㎜） |
| スチール | ステンレス | スチール | ステンレス |
| 1 | CAS-SG01 | ○ |  |  |  | 遮炎・遮煙性能 | 100以上 |
| 2 | CAS-SG02 |  |  | ○ |  | 遮炎・遮煙性能 | 100以上 |
| 3 | CAS-SUSG01 |  | ○ |  |  | 遮炎・遮煙性能 | 100以上 |
| 4 | CAS-SUSG02 |  |  |  | ○ | 遮炎・遮煙性能 | 100以上 |
| 5 |  |  |  |  |  |  |  |
| 6 |  |  |  |  |  |  |  |
| 7 |  |  |  |  |  |  |  |
| 8 |  |  |  |  |  |  |  |
| 9 |  |  |  |  |  |  |  |
| 10 |  |  |  |  |  |  |  |
| 11 |  |  |  |  |  |  |  |
| 12 |  |  |  |  |  |  |  |

様式 １９

(CAS-0257,0258用)

主構成材料の仕様

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

※これは記載例です。自社の仕様を記入のこと

会社名　○○○○○株式会社

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部 位 | 構成材料区分 | 仕 様 | 備考 |
| 戸 | スチール仕様 | JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）に規定するSGCCまたはSGHC主要部の呼び板厚 表面材：１．６㎜、力骨２．３㎜、中骨１．６㎜ |  |
| ステンレス仕様 | JIS G 4305（冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯）に規定するSUS304主要部の呼び板厚 表面材：１．５㎜、力骨２．３㎜、中骨１．６㎜※力骨、中骨はSGCCまたはSGHC  | 力骨、中骨はスチール仕様に準ずる |
| 枠 | スチール仕様 | JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）に規定するSGCCまたはSGHC主要部の呼び板厚 枠：１．６㎜ ※くつづり：１．５㎜（ステンレス） | くつずりはステンレス仕様に準ずる。 |
| ステンレス仕様 | JIS G 4305（冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯）に規定するSUS304主要部の呼び板厚 枠：１．５㎜、くつづり：１．５㎜（ステンレス） |  |

様式 ２０

(CAS-0２６２用)

主構成材料の仕様

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

※これは記載例です。自社の仕様を記入のこと

会社名　○○○○○株式会社

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部 位 | 構成材料区分 | 仕 様 | 備考 |
| 戸 | スチール仕様 | JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）に規定するSGCCまたはSGHC主要部の呼び板厚 表面材：１．６㎜、力骨２．３㎜、中骨１．６㎜ |  |
| ステンレス仕様 | JIS G 4305（冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯）に規定するSUS304主要部の呼び板厚 表面材：１．５㎜、力骨２．３㎜、中骨１．６㎜※力骨、中骨はSGCCまたはSGHC  | 力骨、中骨はスチール仕様に準ずる |
| ガラス | 網入り板ガラス1. 単板ガラス　ＪＩＳ　Ｒ　３２０４　（網入り板ガラス）に規定する６．８ミリ及び１０ミリ厚さひし網入り板ガラス及び角網入り板ガラス
2. 合わせガラス（a）に規定する網入りガラスを組み入れたＪＩＳ　Ｒ　３２０５　に規定する合わせガラス
3. 複層ガラス（a）に規定する網入りガラスを組み入れたＪＩＳ　Ｒ　３２０９　に規定する複層ガラス
 |  |
| 枠 | スチール仕様 | JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）に規定するSGCCまたはSGHC主要部の呼び板厚 枠：１．６㎜ ※くつづり：１．５㎜（ステンレス） | くつずりはステンレス仕様に準ずる。 |
| ステンレス仕様 | JIS G 4305（冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯）に規定するSUS304主要部の呼び板厚 枠：１．５㎜、くつづり：１．５㎜（ステンレス） |  |

様式 ２１

(CAS-0257用)

副構成材料の仕様

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

※これは記載例です。自社の仕様を記入のこと

会社名　○○○○○株式会社

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 副構成材料 | 仕 様 | 備考 |
| 気密材 | EPDMまたはクロロプレンゴム |  |
| ねじ等 | JIS G 4308(ステンレス鋼線材)に規定するSUS 304、JIS G 4303（ステンレス鋼棒）に規定するSUS 302、JIS G 4309(ステンレス鋼線）に規定するSUS 305J1、JIS G 4314（ばね用ステンレス鋼線）に規定するSUS 304又はSUS 302、JIS G 4315(冷間圧造用ステンレス鋼線）に規定するSUS 305J1、又は、SUS XM7等の材質のもの | ただし、金物類の取付ねじは、金物に同梱された専用ねじを用いる |
| アンカー・補強等 | JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯）に規定するSGCC又はSGHC |  |
| 金物 | 吊り金具 | 丁番：ステンレス、ピボットヒンジ：ステンレスカバー付鋳鉄、ヒンジクローザ―（丁番型、フロア型）：鋳鉄 |  |
| 錠前 | ラッチボルト機構を有するケースロック(ステンレス等）電気錠の場合、停電、災害その他の非常時に開錠されるものを選択 |  |
| 自閉装置 | ドアクローザー：アルミダイカスト、 |  |
| 自動フランス落し | ステンレス等(両開きに使用） |  |
| 閉鎖順位調整器 | ステンレス等(両開きに使用） |  |

様式 ２２

(CAS-0258用)

副構成材料の仕様

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

※これは記載例です。自社の仕様を記入くのこと

会社名　○○○○○株式会社

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 副構成材料 | 仕 様 | 備考 |
| 気密材 | EPDMまたはクロロプレンゴム |  |
| ねじ等 | JIS G 4308(ステンレス鋼線材)に規定するSUS 304、JIS G 4303（ステンレス鋼棒）に規定するSUS 302、JIS G 4309(ステンレス鋼線）に規定するSUS 305J1、JIS G 4314（ばね用ステンレス鋼線）に規定するSUS 304又はSUS 302、JIS G 4315(冷間圧造用ステンレス鋼線）に規定するSUS 305J1、又は、SUS XM7等の材質のもの | ただし、金物類の取付ねじは、金物に同梱された専用ねじを用いる |
| アンカー・補強等 | JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯）に規定するSGCC又はSGHC |  |
| 金物 | 吊り金具 | ヒンジクローザ―：鋳鉄 |  |
| 錠前 | ラッチボルト機構を有するケースロック(ステンレス等） |  |
| 電磁レリーズローラー受座 | 鋼、ステンレス鋼等 |  |
| 自動フランス落し | ステンレス等(両開きに使用） |  |
| 閉鎖順位調整器 | ステンレス等(両開きに使用） |  |
| 扉連結金物 | フラット金物、ドアフォルダ：鋳鉄 | 戸先扉幅が750ミリ未満のときに使用 |

様式 ２３

(CAS-02６２用)

副構成材料の仕様

２０ ●● 年 ● 月 １ 日

※これは記載例です。自社の仕様を記入のこと

会社名　○○○○○株式会社

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 副構成材料 | 仕 様 | 備考 |
| グレイジング用シーリング材 | JIS A 5778 （建築用シーリング材）に規定するグレイジング用シーリング材で、「発熱特性試験」において、着炎時間が100秒以上かつ温度時間面積（℃分）が50以下のものとする |  |
| 気密材 | EPDMまたはクロロプレンゴム |  |
| ガラス用セッティングブロック | けい酸カルシウム板、又はJASS 17 ガラス工事に規定するセッティングブロックのうち、クロロプレンゴム、EPDM-Sを用いる |  |
| ねじ等 | JIS G 4308(ステンレス鋼線材)に規定するSUS 304、JIS G 4303（ステンレス鋼棒）に規定するSUS 302、JIS G 4309(ステンレス鋼線）に規定するSUS 305J1、JIS G 4314（ばね用ステンレス鋼線）に規定するSUS 304又はSUS 302、JIS G 4315(冷間圧造用ステンレス鋼線）に規定するSUS 305J1、又は、SUS XM7等の材質のもの | ただし、金物類の取付ねじは、金物に同梱された専用ねじを用いる |
| アンカー・補強等 | JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板又は鋼帯）に規定するSGCC又はSGHC |  |
| 金物 | 吊り金具 | 丁番：ステンレス、ピボットヒンジ：ステンレスカバー付鋳鉄、ヒンジクローザ―（丁番型、フロア型）：鋳鉄 |  |
| 錠前 | ラッチボルト機構を有するケースロック(ステンレス等）電気錠の場合、停電、災害その他の非常時に開錠されるものを選択 |  |
| 自閉装置 | ドアクローザー：アルミダイカスト、 |  |
| 自動フランス落し | ステンレス等(両開きに使用） |  |
| 閉鎖順位調整器 | ステンレス等(両開きに使用） |  |